



## フランスでの研究生生活

国立環境研究所（以降、国環研）の伏見暁洋さんよりバトンを受けました、山川です。研究室は異なりますが、伏見さんとは同じ研究センターに所属しています。伏見さんに会った方は一目で「体育会系だな」と思われることでしょうか。何を隠そう、伏見さんは国環研テニス同好会の頂点で、つくば市の大会で優勝経験のある強者です。一方の私はというと、テニス同好会の幽霊部員（懐かしい表現！）。研究・テニスともに伏見さんの背を遠くに眺めているような者です（男前なテニスなんて、とんでもありません）。そのような伏見さんからリレーエッセイの声が掛かったのはとても嬉しく、感謝いたします。

現在、私は国環研の長期海外派遣研修制度を利用してフランス南西部にあるポーに滞在しています。スペインとの国境近くにあるポーでは、天気の良い日は雄大なピレネー山脈を眺めることができます。ツール・ド・フランスをご覧になる方は、山脈超えの地点として既に名前を聞いたことがあるかもしれませんね。遡ること4年前、当時研究室の室長であった柴田康行先生の紹介でポー大学のオリビエ・ドナルド教授にお会いする機会がありました。話した時間は短くとも、オリビエさんの求心力を強く感じたことを鮮明に覚えています。そのような人のもとで、研究プロジェクトがどのように立ち上げられ、遂行されるのかを体感したいと思ったのが研修先としてポーを選んだきっかけです。こちらでは、最新の水銀同位体分析法を学ぶとともに、ヨーロッパの大気中水銀の計測技術の開発プロジェクト（MercOx）等のプロジェクトに参加し、充実した日々を過ごしています。

「フランス人の美学」のような本を良く見かけますが、研究者の生活にも美学が随所に見られます。こちらでは、平日は9時になるとオフィスや実験室が賑やかになり、夕方5時～6時にオフィスの鍵が閉まる音が聞こえます。教員はデスクワークや実験、会議で日々とても忙しいにも関わらず、余程のことがない限りドアは閉めません。学生やビジターが引っぱり無しに教員の元を訪れても、非常に丁寧に対応していることに驚きます。仕事が終わらない場合は夕食後に仕事の時間を確保しているようですが、いかなる状況においても決して焦りを見せず、Welcomeの精神でいることはこちらの研究者の美学なのかもしれません。

オフとはいうと、家族との時間を大切にしている方が多いようです。アメリカでポスドクをしていた頃は、金曜日の昼過ぎになると「今日は金曜日！ 5時になったらバーで1週間の疲れを癒しましょう」といったメールがありました。こちらでは重要な来客がない限り終業後に出かけることはありません。仕事が終わらなくとも殆どの人が定時に帰宅し、家族とのディナータイムを楽しんでいるようです。フランスは休暇が多いことで知られていますが、ブランドを手に入れるかのように旅先を選ぶようなことはなく、家族の思い出がたくさん作れるように計画しているようです。何の基準にも左右される



写真：フランスのテニスクラブのチームメイトとの一コマ

ことなく家族との時間を最大限に楽しむ。これもフランス人の美学だと感じました。

さて、私の生活はというと、美学とは遠い世界にいます。こちらに来てまで締切りに追われていますし、街では言葉がわからず日々焦っています。少しでも渡仏前に勉強していれば良かったのですが、持って生まれた怠け者の性格で、勉強に費やした時間はゼロ。NHKの「旅するフランス語」は観ていましたが、女優の黒木華さんのファンだから観ていただけですし、持ってきたフランス語の参考書は折り目がつかないまま綺麗に保管されています。当然の結果です。この状態でも生活できているのは、ポーの温厚な人々に助けられているからでしょう。今朝の出来事です。予定時刻を30分過ぎてもバスが来ず、途方に暮れていたところ、女性が歩いてきて「今日はストライキでダイヤが乱れているのよ。あなたのバスは大丈夫かしら？」と英語で話しかけて下さいました。その方もバスに乗れずに困っているはずなのに、周りを気遣う余裕があるのは素晴らしいことです。言葉は上達しなくとも、このような点はしっかり吸収したいところです。

さて最後になりましたが、この場をお借りしてお礼を伝えさせてください。このような機会を与えてもらったことは非常に有難く、感謝してもしきれないほどです。派遣研修候補者として推薦して下さいました今村隆史先生、いつも温かく応援して下さいました佐野友春先生、快く送り出してくれた研究室および研究関係者の皆さま、どうも有難うございます。

次回のバトンは産総研の有賀智子さんに渡します。有賀さんとは2月にポーで開催された学会が初対面でしたが、共通点が多いことに驚きました。つくばで働く女性研究者として仲良くさせて頂きたい方の一人です。知り合って間もないなか、リレーエッセイを引き受けて下さり感謝しています。

〔国立環境研究所 山川 茜〕